

無印良品

オーク材AVラック・薄型(引戸)・幅150/110cm 共通

組立・取扱説明書 保存用

- お買い上げありがとうございます。
- ご使用前に必ずお読みください。
- この説明書は必ず保管してください。

ご使用前に必ずお読みください

注意

- 組み立て後、一週間経過しましたら、ボルト類を締め直してください。
- 組み立て・設置の際は、床や既存の家具に傷が付かないよう、注意しておこなってください。
- ドライバーは付属されておらず、お手持ちのドライバーをご用意ください。
- フィッティングパーツの取付けに「電動工具」は使用しないでください。
- 組み立ては必ず、お二人以上でおこなってください。

完成図

オーク材AVラック・薄型(引戸)

幅110cm

幅150cm

天板
脚
レール

■ 耐荷重
(均等に荷重をかけた場合)

天板：40kg
棚板：14kg

※棚板は可動式です。
※テレビを設置する際は各商品の幅と奥行に収まる大きさが目安ですが、実際の耐荷重を守ってお使いください。
※一部に偏った荷重をかけないようにご注意ください。

パーツリスト

01 本体	幅110cm	01 本体	幅150cm
02 扉(左右、中央共通)		03 棚板	
		※ 01 に取り付けられています	
(幅150cm)	×3		×3
(幅110cm)	×2		×2
		04 背板(左右共通)	
			×2
			×2

フィッティングパーツリスト

01 棚受け

※ 01 に取り付けられています
※ 予備として数個多めにに入れてあります。

(幅150cm)	×12
(幅110cm)	×8

1 本体を敷物等の上に置いてください。
別紙「引戸留め具のはずしかた」を参照し、留め具をはずした後、下記の手順で扉と棚板をはずしてください。

扉、棚板の取り出しかた

01 本体に取り付け済みの 02 扉を①～⑤の順番ではずします。一度扉を持ち上げてから、下側を手前に引きながらはずしてください。次に 03 棚板を取りはずしてください。

■ 横から見た図

① 扉を持ち上げ
② 下側を手前に引く

幅110cm

幅150cm

上レール
下レール(横)

切り込み溝がある方が前面になります。

敷物

03 棚板をはずす(3枚)

注意

● 扉を取りはずす際は指はさみに注意し、落とさないように両手でしっかり保持してください。
また周囲に小さなお子様のいない場所で行ってください。

2 01 本体内側に取り付け済みの 01 棚受けを、お好み位置の棚受け穴に付け変えてください。棚板1枚あたり4箇所を取り付け後、03 棚板の向きを合わせて設置してください。(※棚板は110cmに2枚、150cmに3枚あります)

※棚受けは、本体に取り付けられています。取りはずして使用してください。
※棚受けは、一枚の棚板につき4ヶ使用してください。

幅110cm

棚受け穴
棚受け

01

03

03

3 ①～④の順番で 02 扉を再び本体のレールへ取り付けます。

- ① 02 扉の上レールの溝(奥側)に入れます。
- ② そのまま持ち上げた状態で、ゆっくりと扉の下側を下レールの(奥側)に入れます。
- ③ 扉を上レールの溝(手前)に入れます。
- ④ そのまま持ち上げた状態で、ゆっくりと扉の下側を下レールの溝(手前)に入れます。
※入れにくい時は、底板を押し下げるようにして入れ込んでください。

幅110cm

■ 横から見た図

前

上レール

下レール(横)

切り込み溝がある方が前面になります。

幅110cm

奥側

手前側

扉をはめ込みます。

切り込み溝がある方が前面になります。

幅150cm

幅150cm

奥側

手前側

奥側

4 手順 3 と同じ要領で本体の裏側に、①～④の順番で取り付けます。完成です。
※背板の向きにご確認ください。

幅110cm

裏側

奥側

手前側

04

04

■ AV機器配線の通しかた

- AV機器等のコードは内側板の後ろの隙間を通すことができます。
- コードの太さに応じて、04 背板を開けて通してください。

AV機器等

内側板

コード

注意

- 扉が確実にレールに入っているか、扉を動かし確認してください。
- 扉を開く際、隙間に手や指を挟まないようご注意ください。
- 本体に、上方向から過度な力を加えたり、腰掛けたりしないでください。
- テレビ、AV機器を設置する場合は、設置する機器の取扱説明書をよく読み、正しくご使用ください。
- AV機器のコードを裏側から出す際は、ゆとりを持って背板を動かし、開口部をつくるようにしてください。コードをはさむとコードを傷める原因となります。
- 本体を移動させる際には、必ず中の収納物を取り出し、2人で本体底面を持って移動してください。引きずったり、天板部分を持ちますと本体破損の原因になる場合があります。